

さくら



令和8年5月18日(月)

いじめ (いのち) について考える

「いじめはいけない」 「いじめ」は重大な人権侵害です！

「いじめはいけない」 このことに異論を唱える人はいないはずですが、しかし、いじめは現実のものとして、みなさんの周りで起こっています。大人の世界でもいじめがあります。

「いじめ」が原因で、命に関わる重大な結果を招くこともあります。人の命は何よりも重く、決してそのような事態を招くことがあってはなりません。

「いじめ」は重大な人権侵害です。そして、多くの場合は犯罪になります。

私たちは、決していじめの加害者になってはならないのです。同時に、いじめを是認したり、いじめの起こる環境をつくりだす一員になってはなりません。

どんなことがいじめ

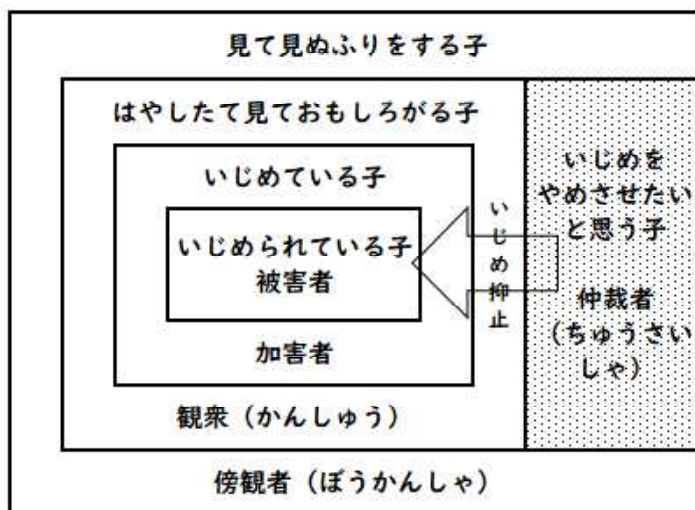
- 仲間はずれ・無視・陰口
- からかう・悪口（冗談だったではすみません）
- ぶつかる・叩く・蹴る
- お金を要求する・人の物を壊す・人の物を隠す
- パソコン・携帯によるもの



STOP いじめ

「いじめの構造」

右の図は、いじめの構造を示しています。いじめがひどくなっていくのは、いじめる子といじめられる子以外の「はやしたて見ておもしろがる子（観衆）」や「見て見ぬふりをする子（傍観者）」が大きく影響しています。「観衆」や「傍観者」になってはいけません。いじめをやめさせる仲裁者になることを、いつも意識してください。



皆さんに取り組んでほしいこと

- 1 自分がされていやなことは人にしない。
(自分がされて平気でも、相手にとってはいやなことがあることも分かっておこう。誰かを傷つけないための創造力をはたらかそう。)
- 2 互いに尊重しあえる集団になろう。
(相手の気持ちや考えを大切にする)
- 3 嫌な思いをしたときは、親や先生など、信頼できる大人に相談しよう。
- 4 友達から「いじめられていること」の相談を受けたときも、親や先生など、信頼できる大人に相談しよう。
- 5 いじめられている人を助けよう。
(いじめを見て見ぬ振りをしない。「いじめ反対」の声をあげる。)
- 6 ネットいじめをしない。
 - ・ ネットいじめに誘われても断る
 - ・ 悪意のある書き込みをしない
 - ・ 人の秘密やうわさを広めない
 - ・ 意地悪な投票に参加しない
 - ・ 人の個人情報を他の人に送らない(名前・連絡先・写真など)

一人一人が「いじめいけない」という認識をもち、互いに尊重しあい、助け合うことのできる集団の一員となってください。それが堀中生です。

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

